

2017年度（平成29年度） がん発見率

がん検診の内容

当会では肺がんは胸部単純X線検査とCT検査、胃がんはバリウム造影検査および内視鏡検査、大腸がんは便の潜血反応検査と大腸内視鏡検査およびCT大腸内視鏡検査、子宮がんは超音波、擦過細胞診検査、乳がんはマンモグラフィや超音波検査およびMRI検査などを行っています。

要精密検査として外部医療機関に**二次検査**を依頼し返事を頂いた件数と、当会一番町健診クリニックにて二次検査を行った件数について解析しました。

二次検査は肺ではCTや気管支鏡検査、胃や大腸では内視鏡検査を行い、病理組織検査でがんと判明した例を解析しました。

がん発見率

			肺がん	胃がん		大腸がん	乳腺		子宮がん
				バリウム	内視鏡		マンモグラフィ	超音波	
実施件数	A		135,178	38,058	2,536	51,226	1,147	3,284	7,134
要精検数	B		1,159	1,032	132	3,446	64	98	65
要精検率			0.9%	2.7%	5.2%	6.7%	5.6%	3.3%	0.9%
精検結果判明数	C	総数	672	484	13	1,152	23	0	31
	D	要精検数中の比率 (C/B)	58.0%	46.9%	9.8%	33.4%	35.9%	0.0%	47.7%
		(外部医療機関)	298	360	13	966	23	0	31
		(一番町クリニック)	374	124	-	186	0	0	0
がん組織確定	E		15	4	1	13	0	0	2
報告数中癌発見率	F	E/C	2.2%	0.8%	0%	1.1%	0	0	6.5%
総受診者中の がん発見率	G	$E/(A*D/100)$	0.02%	0.02%	0.04% (E/A)	0.08%	0.00%	0.00%	0.06%

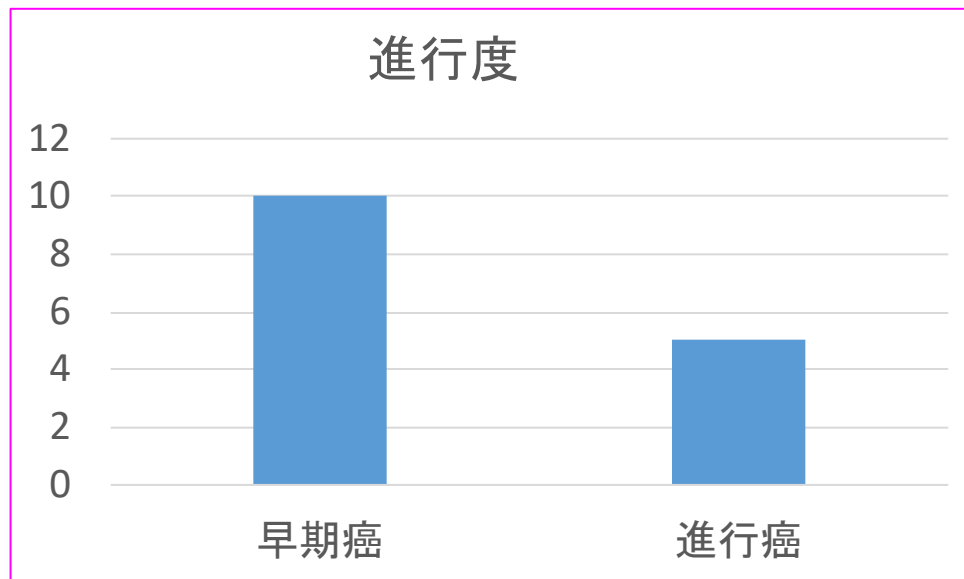
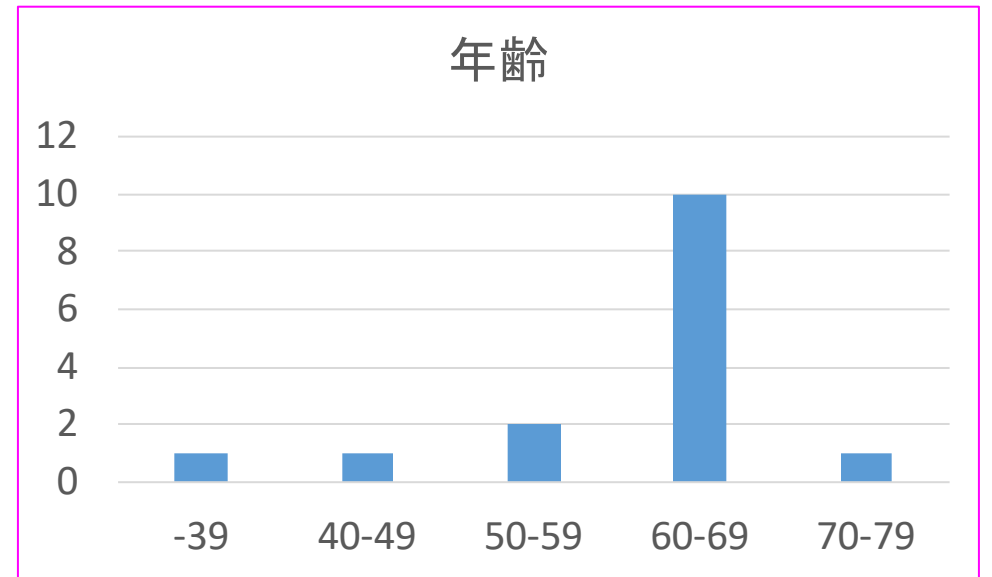
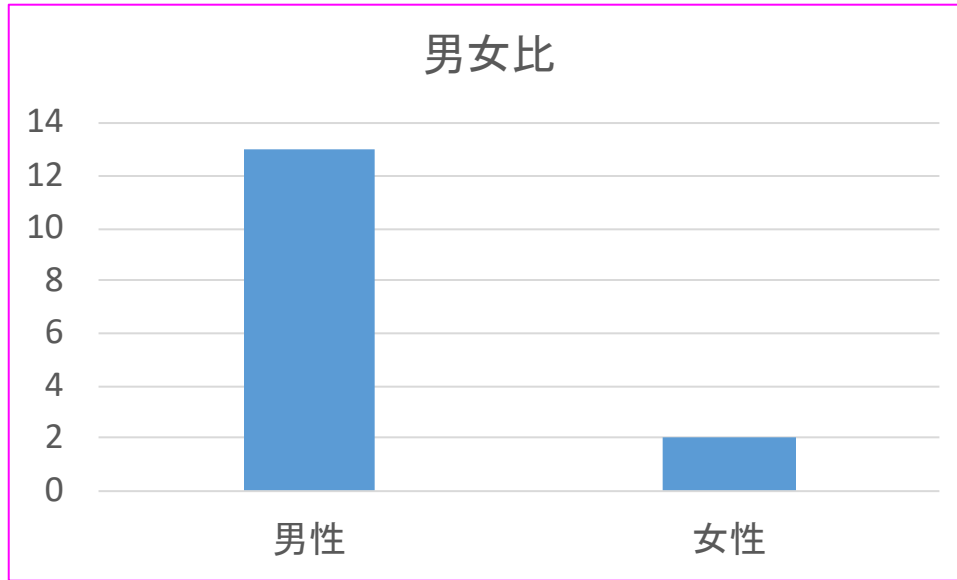
結果

- 要精検率は肺0.8%、胃2.6%、大腸5.9%、子宮1.2%でした。
- そのうち結果が得られたのは10～40%でした。精密検査を受けない、あるいは受けても報告をいただけない方が大半でした。
- 肺がん12例、胃がん4例、大腸がん7例、子宮がん1例が発見されました。
- 結果判明率から補正して得られた総受診者中のがん発見率は肺がん0.03%、胃がん0.08%、大腸がん0.18%、子宮がん0.08%でした。

前年度との比較(肺がん・胸部単純X線)

肺がん		2017年度	2016年度	2015年度
実施件数	A	135,178	135,875	129,519
要精検数	B	1,159	1,147	1,044
要精検率	B/A	0.9%	0.8%	0.8%
精検結果報告数	C 総数	672	425	421
	D 要精検数中の比率	58.0%	37.1%	40.3%
	(外部医療機関)	298	255	278
	(一番町クリニック)	374	170	143
がん組織確定	E	15	11	12
報告数中癌発見率	F E/C	2.2%	2.8% (12/425)	3.8% (16/421)
総受診者中のがん発見率	G E/(A*D/100)	0.02%	0.02%	0.03%

肺がん症例内訳

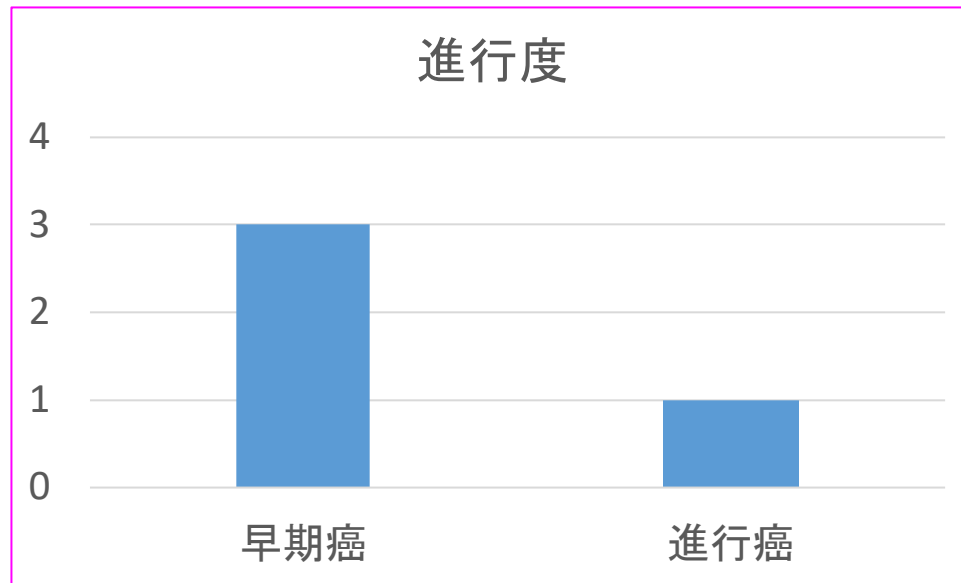
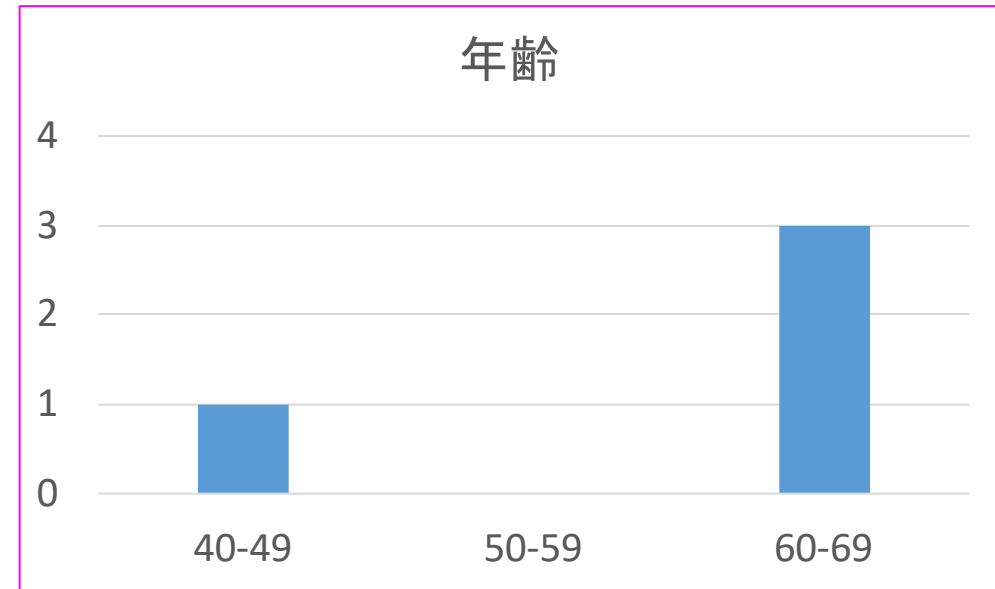
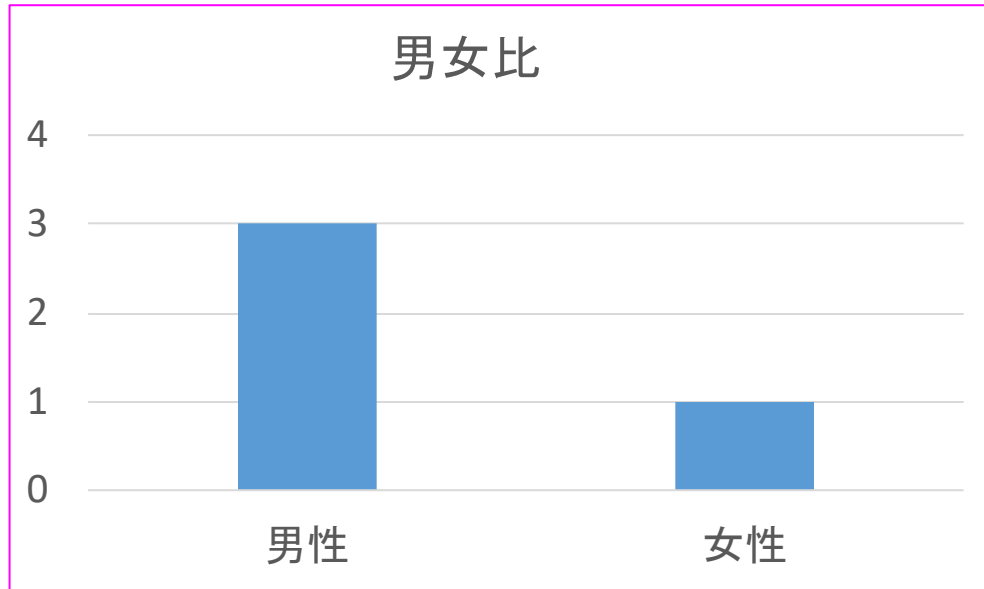


男性に多く、30歳代、40歳代にもみられました。
要精検とされたのに病院受診せず、進行癌で再
発見された人もいました。

前年度との比較(胃がん・バリウム検査)

胃がん			2017年度	2016年度	2015年度
実施件数	A		38,058	41,127	35,543
要精検数	B		1,032	1,073	1,850
要精検率		B/A	2.7%	2.6%	5.2%
精検結果報告数	C	総数	484	355	488
	D	要精検数中の比率	46.9%	33.1%	26.4%
		(外部医療機関)	360	270	353
		(一番町クリニック)	124	85	135
がん組織確定	E		4	4	8
報告数中癌発見率	F	E/C	0.8%	1.1%	1.6%
総受診者中の がん発見率	G	$E/(A*D/100)$	0.02%	0.03%	0.08%

胃がん症例内訳

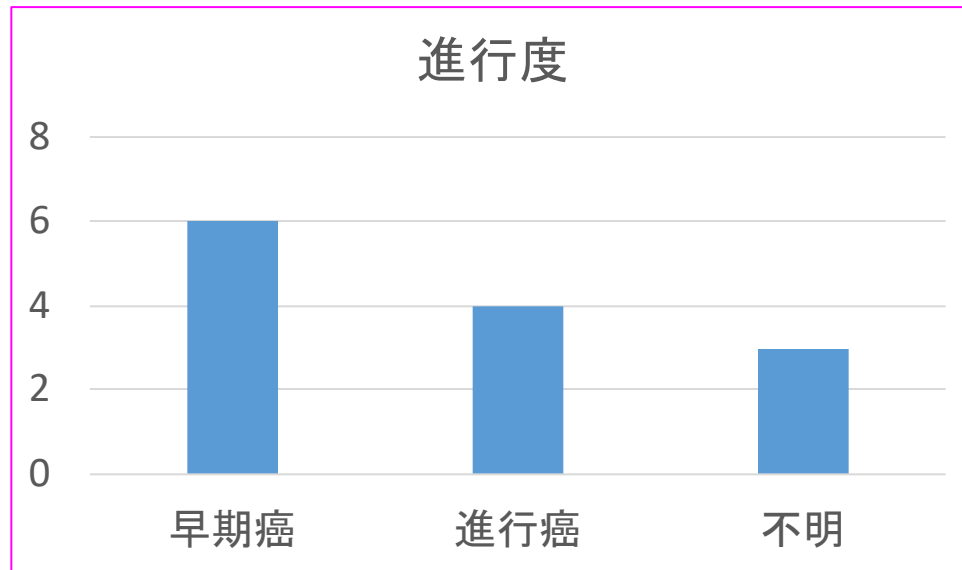
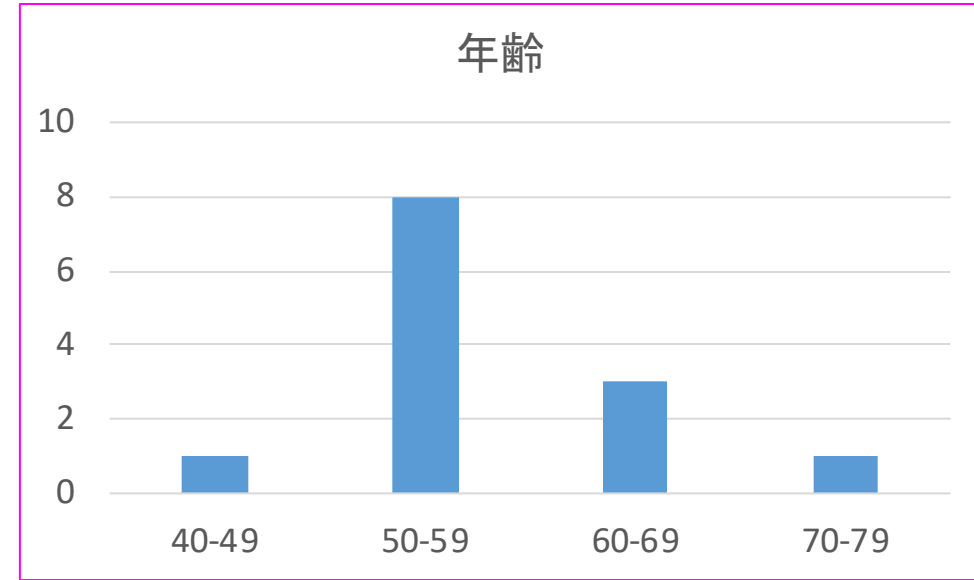
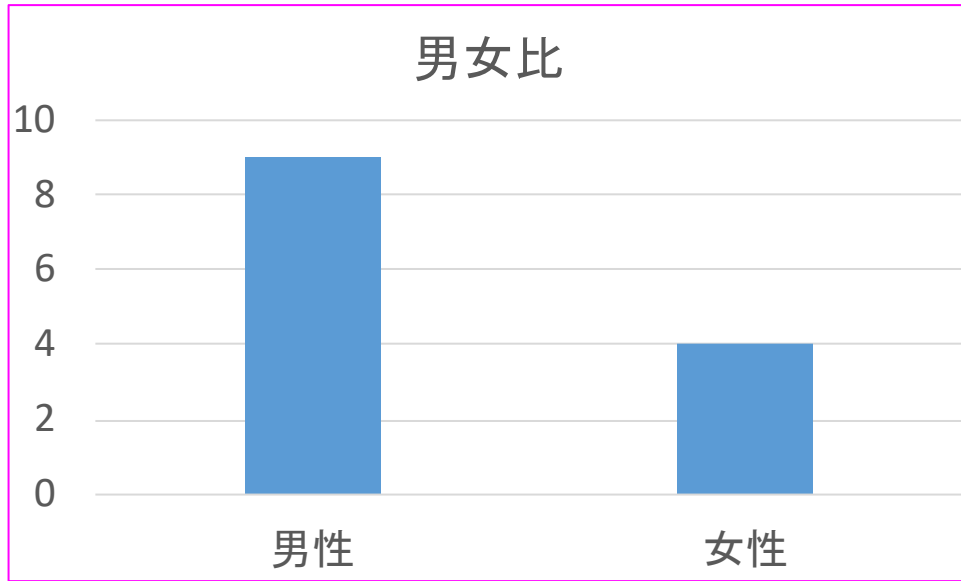


男性に多く、40歳代にも見られました。
3年間受診せず進行癌で発見された人も
いました。

前年度との比較(大腸がん・便潜血反応)

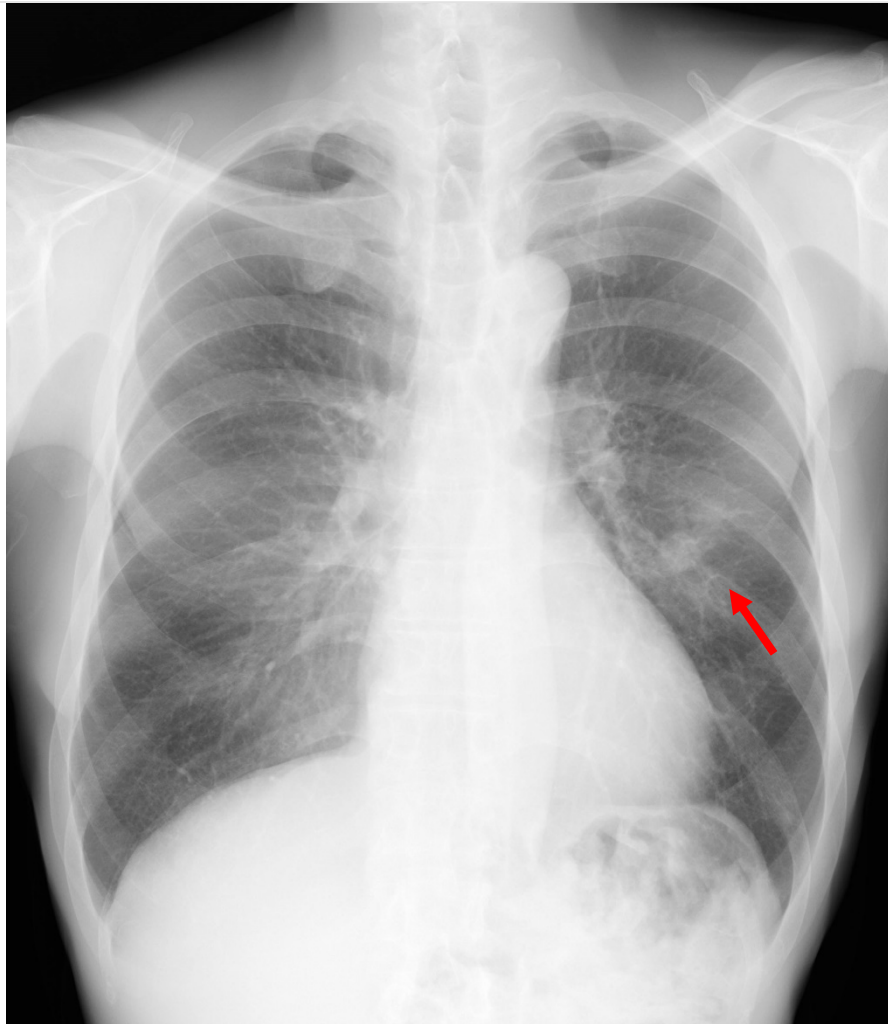
大腸がん			2017年度	2016年度	2015年度
実施件数	A		51,226	49,920	44,132
要精検数	B		3,446	2,938	2,712
要精検率		B/A	6.7%	5.9%	6.1%
精検結果報告数	C	総数	1,152	616	275
	D	要精検数中の比率	33.4%	21.0%	10.1%
		(外部医療機関)	966	452	50
		(一番町クリニック)	186	164	222
がん組織確定	E		13	7	8
報告数中癌発見率	F	E/C	1.1%	1.1%(7/616)	2.9%(8/275)
総受診者中のがん発見率	G	$E/(A*D/100)$	0.08%	0.07%	0.18%

大腸がん症例内訳

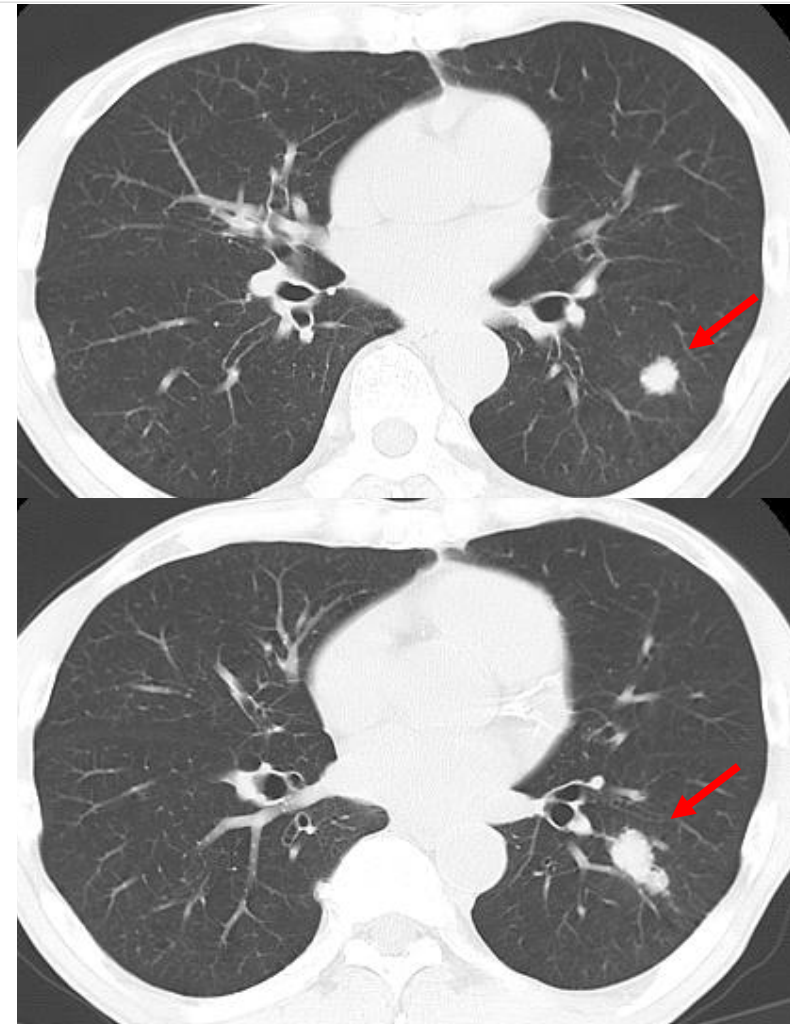


男性に多く、40歳代にも見られました。

肺癌症例(1) 65歳男性 たばこ20本×45年



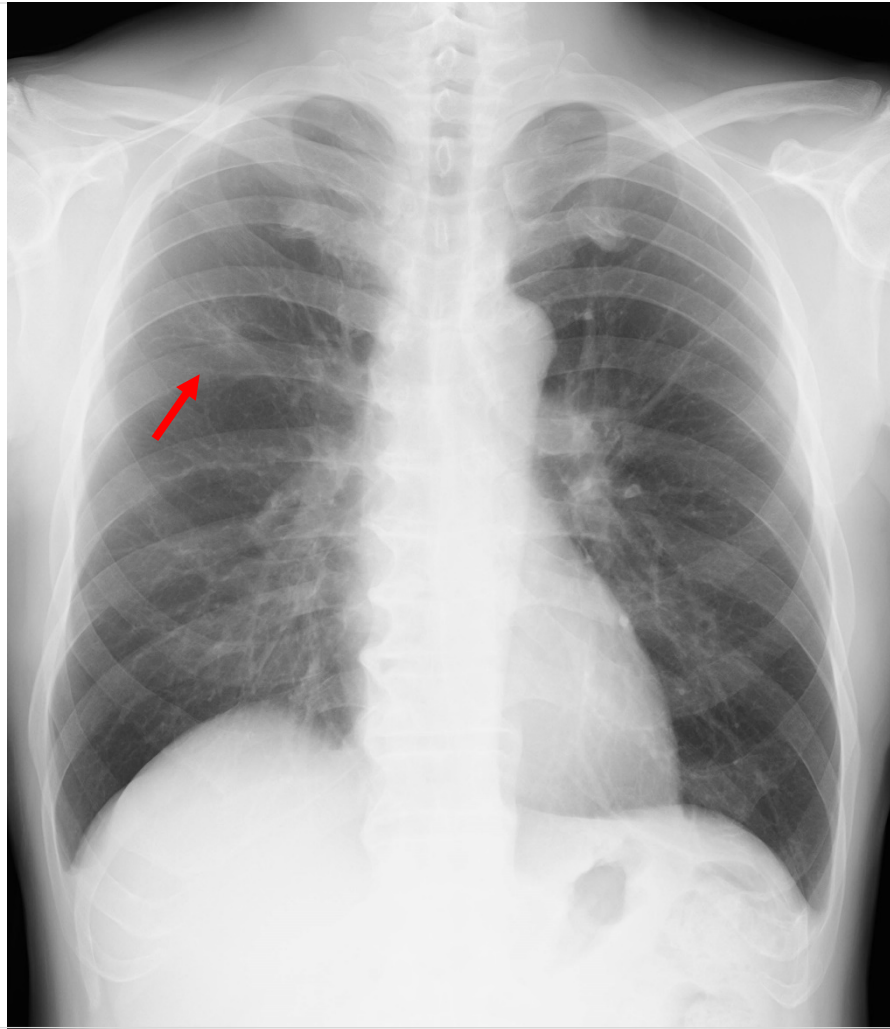
2017.09.26 左中肺野多発結節影 要精査



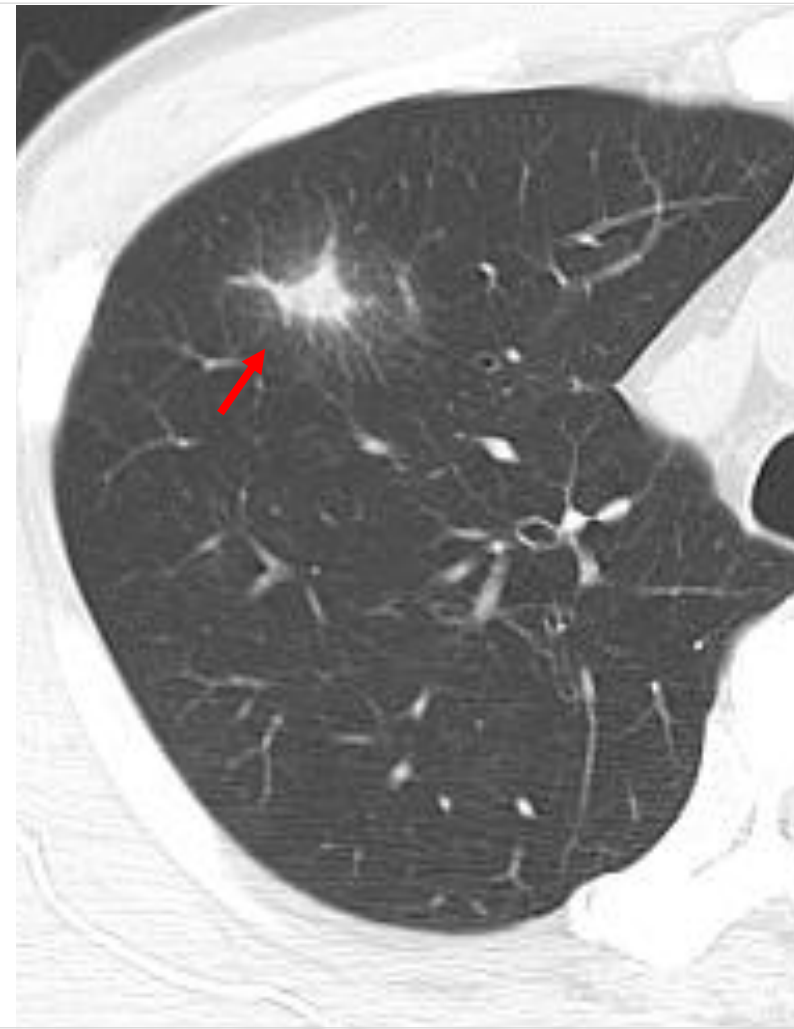
2017.09.26 当日二次検CT

2017.10.27 VATS: 扁平上皮癌

肺癌症例(2) 61歳男性 たばこ(-)



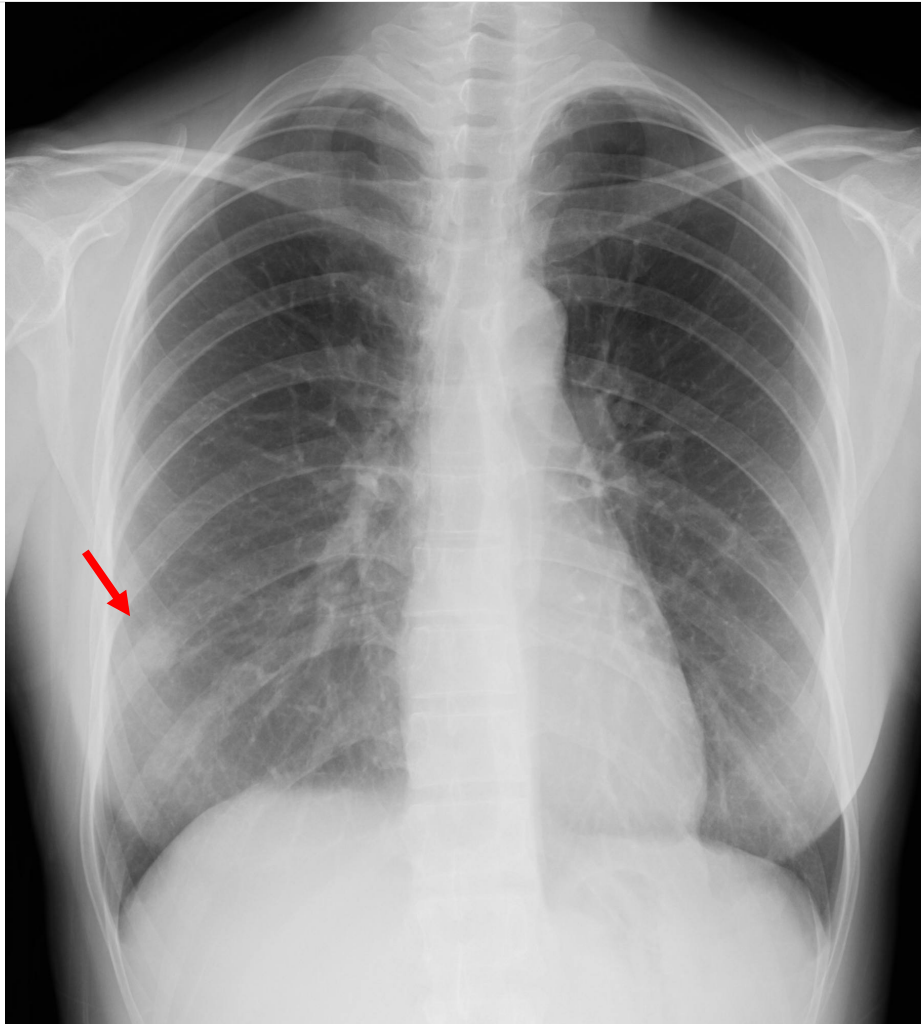
2017.09.02 右中肺野結節影



2017.10.02 二次検CT

62歳 手術:肺癌

肺癌症例(3) 39歳女性 たばこ(-)



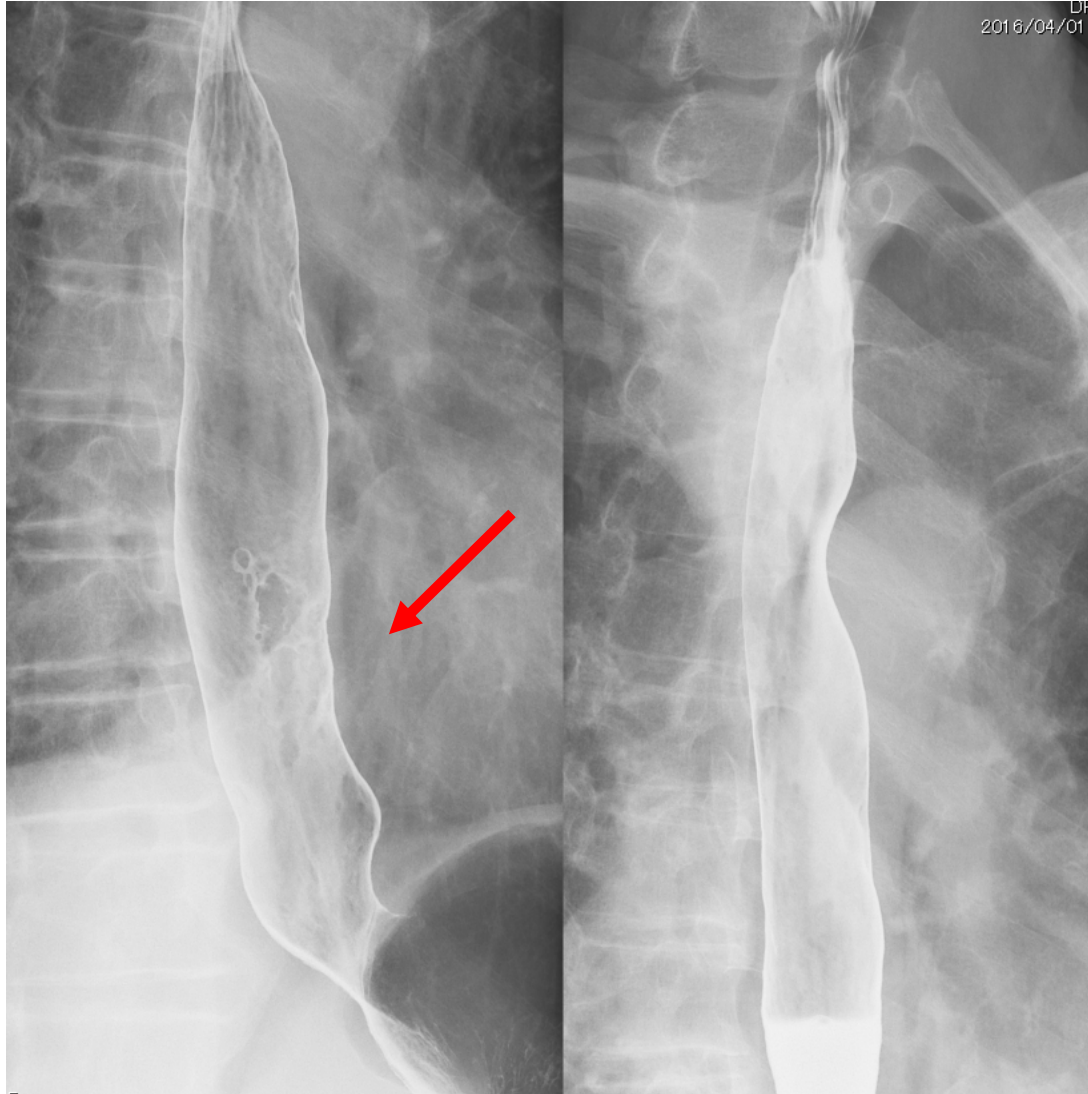
2018.03.06 右下肺野結節影



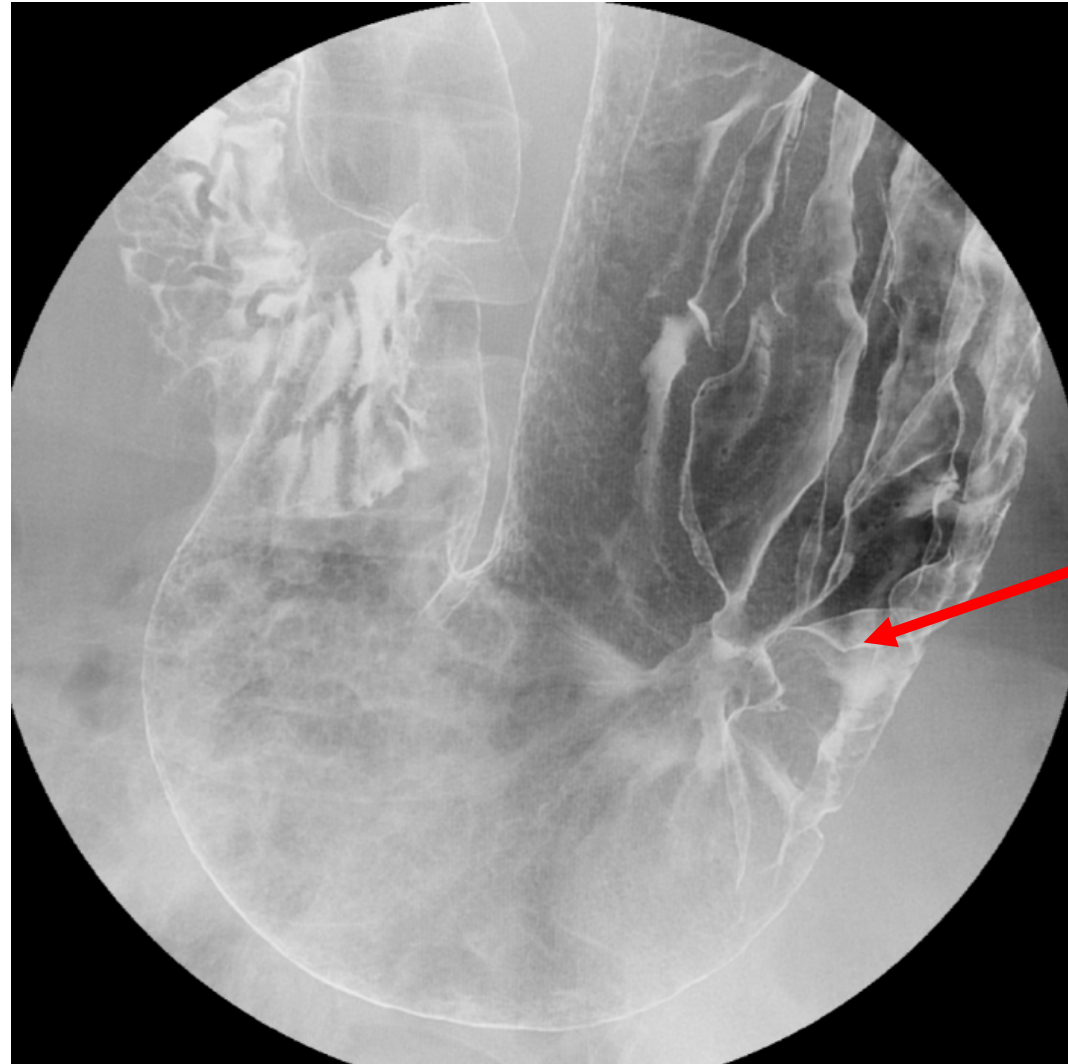
2018.04.10 二次検CT

2018.5.2 手術:腺癌

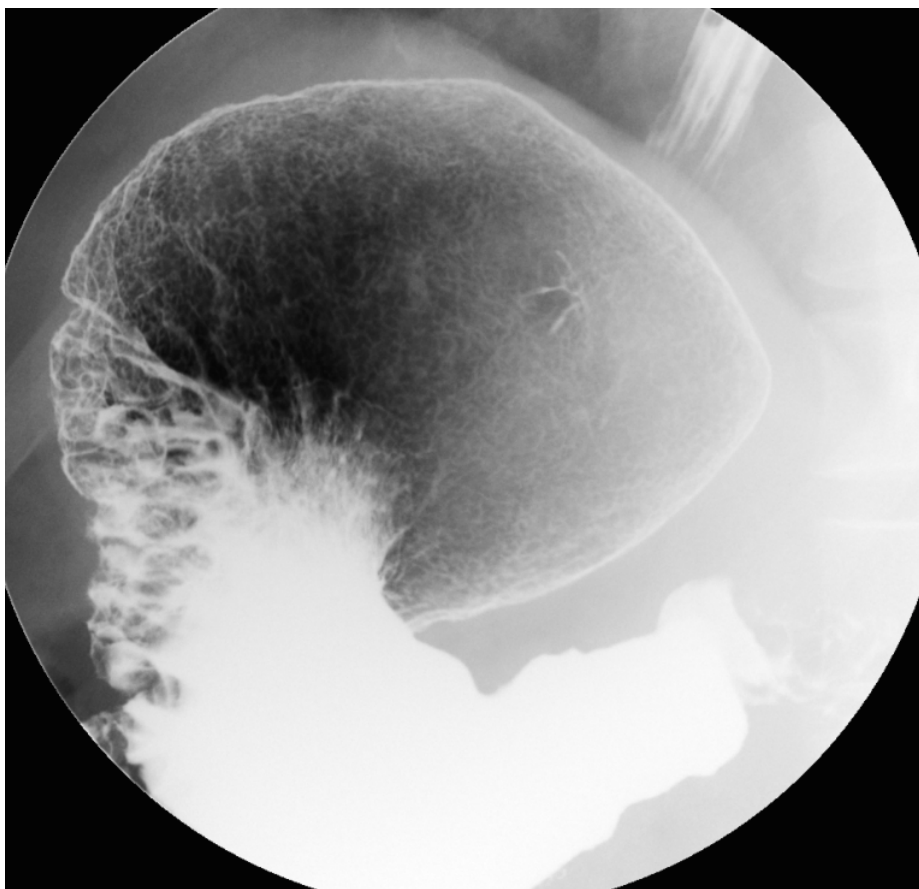
食道癌症例



胃癌症例(1)



胃癌症例(2)



2014. 7. 25



2017. 8. 25

この間当会を受診していませんでした。

まとめ

- 要精密検査で結果報告をいただいた方の1.1~2.8%の方に肺がん、胃がん、大腸がん、あるいは子宮がんが発見されています。
- 結果判明できない方が半数以上います。**精密検査を受けていない方が多数いる**のではないかと懸念されます。要精検の数%にがんがありますので、**必ず精密検査を受けましょう！**
- 40歳台にも肺がん、胃がん、大腸がんが発見されています。**40歳代から検診を受けましょう。**
- 大半が早期癌で発見されています。
- 毎年精密検査を指摘されたのに放置したり、数年検診をスキップした間に進行癌になった方もいます。**胃のバリウム検査は毎年受診しましょう。**

お願い

- 早期で発見されたがんは治ります。また、職場復帰も容易です！
- がん検診は毎年受けて、要精密検査と判定されたら、必ず二次検診を受けて下さい！